

Weekly Report 2023-2024



創立 1969年4月14日
承認 1969年4月23日
チャーターナイト 1969年11月9日
発行 IT・広報委員会

世界に希望を生み出そう

会長：磯崎裕騎 / 幹事：吉岡哲哉 / 副会長：村上義憲 / 会長エレクト：江島繁夫 / 副幹事：岩本達也 / S.A.A: 堀井実

今週のプログラム		第2599回	6月7日
フォーラム			
担当者	プログラム委員会		例会場 JRホテルクレメント高松

先週のプログラム		第2598回	5月24日
会員卓話			
担当者	プログラム委員会		例会場 JRホテルクレメント高松



磯崎会長挨拶

みなさん こんにちは
今日は初夏を思わせるような天気になり、気分も良いかと思
います。
先日は徳島において開催された地区大会にご参加頂きあり
がとうございました。
私は前日のRI会長代理歓迎晩餐会からの参加でした。今回
御臨席頂いたRI会長代理は創業470年の当主で高野孫左
衛門さんでした。なんでも敵に塩を送るで有名な上杉謙信と
武田信玄の話に関係しているとのこと。ご存じの通り武
田信玄はですが甲斐の地方で塩を手に入れることが難しく、
東海地方から塩を入手していたのです。
しかし、東海地方の今川は、北条と手を組み、信玄への塩の
販売を止めてしまいます。困った信玄に救いの手を差し伸
べたのが上杉謙信でした。越後の武将で、信玄のライバル
であるのにも関わらず、謙信は甲斐へ適正価格で塩を販売
したのです。その塩を運んだのがRI会長代理の高野孫左衛
門さんの初代当主だったとのこと。なんとも歴史を感じさ
せる話でした。
翌日の全体会議はいつも通りだったと思いますが、夕方の

大懇親会はかなりの人数の参加で混雑していました。
来年は香川高松において4月25、26日に開催されます。ま
たいつの頃からか年度が終わりかけに地区大会が開催され
るようになったのでその次のガバナーからは年度前半に行
いたいと10月に高知で開催されるようです。多くの会員の方
と旅行気分です。参りたいと思しますのでその時はご参加くださ
い。
本日もよろしくお祈りします。

ビジター

高松RC 向井 幸司 様
坂出東RC 吉原 良一 様

メイクアップ

5月13日 高松北RC 白川
5月18日 地区大会 磯崎 吉岡 住谷 岩本 加藤 木村 田中
5月25日 高松RC 白川 藤田




世界に希望を生み出そう

6月7日 今日は何の日	今日生まれの有名人名			
計量記念日	1961年	手塚理美	1949年	岸部シロー
1951年 計量法公布	1958年	プリンス	1906年	渋谷天外
1986年 衣笠祥雄が2,000試合連続出場	1956年	千宗室	1848年	ゴーギャン
誕生花	きんぎんかずら、花言葉は“運命の糸”			
誕生石	エメラルド(emerald)、宝石言葉は“幸福”			

我等の生業

我等の生業さまざまなれど
集いて図る心は一つ
求るところは平和親睦
力るところは向上奉仕
おおロータリアン 我等の集い




ニコニコBOX

卓話がありました。ご迷惑おかけします。 江島
妻に誕生祝をいただきました。ありがとうございます。
社内不祥事でお騒がせし、申し訳ありません。 村上
妻に誕生祝を頂いて。地区大会欠席(申し訳なく) 島谷
ロータリー財団より表彰頂いて。 島谷
遅刻・早退 3件

合計 7 件

本日の合計 26,500 円

2023-2024 年度累計 778,000 円

出席報告

出席委員長：低田陽介

会員数 /	41 名	出席規準数 /	37 名
出席者数 /	18 名	欠席者数 /	19 名
出席率 /	48.65%	ビジター /	2 名
最終出席率 /	4 月 26 日	57.89%	→ 62.16%

地区大会レポート

磯崎 裕騎

5月17、18日と徳島において地区大会が開催されました。会長幹事は前日のRI会長代理歓迎晩餐会から参加しました。今回御臨席頂いたRI会長代理は高野孫左衛門さんとおっしゃる創業470年の老舗18代当主の方でした。

「敵に塩を送る」故事で有名な塩問屋が初代当主だったそうです。物腰の柔らかい方で山梨から来られたと言うことで赤白のワインを差し入れて頂きました。美味しかったですよ。

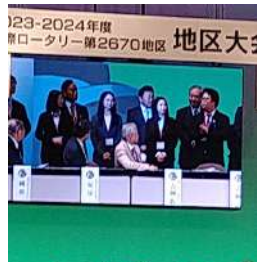
土曜の午前は会長幹事会があり活動報告や財務報告がありました。地区役員の方はお疲れのことと思いました。

午後からの本会議はコロナ以来の通常規模の大会であったため大変賑やかでした。会場のアスティー徳島の全体を使っておりさすがロータリーという雰囲気でした。当クラブからは島谷会員と加藤会員が表彰にお名前が載りました。

おめでとうございます。

夕方から場所をグランヴィリオホテルに場所を移しての大懇親会が開催され、こちらもかなりの人数が集まり混雑していました。

来年は年度後半の地区大会と、年度前半の地区大会の2回開催が見込まれているようです。



ポール・ハリスの言葉 ロータリー情報委員会 加藤和理

27. 大河は細流の集まり

We know that rivers do not have their source in any one spring. We that rivers are thr aum total the hundreds of rivulets course down the hillsides and pour their volume into the channel of the great reiver.

我々は知っている、河の源流が唯一の泉によるものではないことを。河とは幾百の細流の総量を言う——各小山肌を流れ落ちて水路に注ぎ、水嵩を増して大河を形成するに到るのだ。

オーストラリアとニュージーランドに新クラブを設立する為に出発する二人のロータリアンが、こういう重要な使命を果たすからには、是非ロータリーの創始者であるポール・ハリスに会って行きたいと言ってきた。ポールがこれを聞いて、有り難い言葉だが買かぶりに過ぎぬことわったら、事務総長のチェス・ペリーは「彼等の希望は大河の源泉を見たいという人情だ」と応酬した。

この言葉はそういうやりとりの中で生まれてくる。ポールの謙譲の美德もさることながら、ロータリーの性格を正しく把握する為にもこの言葉を逸してはならぬ。ロータリーは特定の教祖を信奉する宗教ではない。ロータリーは歴史的に言っても、またその本質からみても、世界中の善意の泉を集めて今日の大河を形成したのである。「原点に還れ」という言葉がこの頃しきりと安易に使われるが、原点とは何なのか、本当に真面目に考えて言っているのだろうかと思う。月並な言葉を安直に繰り返すことを止めろとポール・ハリスも言っている。

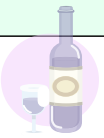
性善説の立場に立つ限り、ロータリーという精神的な原点は、ロータリアン各個人の心の中にある。即心即仏である。そういう意味では先ず自分の心の中を探るべきであろう。然しロータリーが採り上げて来た運動の原点というなら、それはロータリーの歴史を辿ってゆかねばならぬ。そうすればポールの言葉が如何に言い得て妙か思いあたるであろう。

然しそれにしても、数ある源泉の中でやはりポール・ハリスという泉が、如何に逸すべからざる貴重な泉であるかは疑う餘地がない。

6 月誕生日の樹

10日 江島 繁夫 会員 タイサンボク(泰山木)

19日 有友 理裕 会員 サクランボ(桜桃)



記念樹 — 記念日と誕生日365日の+1の樹 — 財団法人経済調査会発行より

facebook

facebook でたくさんの写真を公開していますのでぜひご覧ください。



<http://www.facebook.com/TakamatsuWestRC>

IT・広報委員会よりお願い

週報に掲載させていただく記事・原稿を募集させて頂きたく会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。題目は自由として、できるだけ多くの皆様に近況報告も含め各業界分野の話、身近な随筆、提言等どんなお話でも結構ですので投稿していただきます様、宜しく願い申し上げます。

次週のプログラム

第 2600 回

6 月 14 日

客話：神高幸弘様

担当者 プログラム委員会

例会場 J Rホテルクレメント高松